

「学生とシニアの対話会（九州工業大学）」 事後アンケート結果
 ～ 遠隔対話バージョン ～
 （2021年12月7日開催）

纏め：梶村 順二

*参加者（アンケート回収数32）

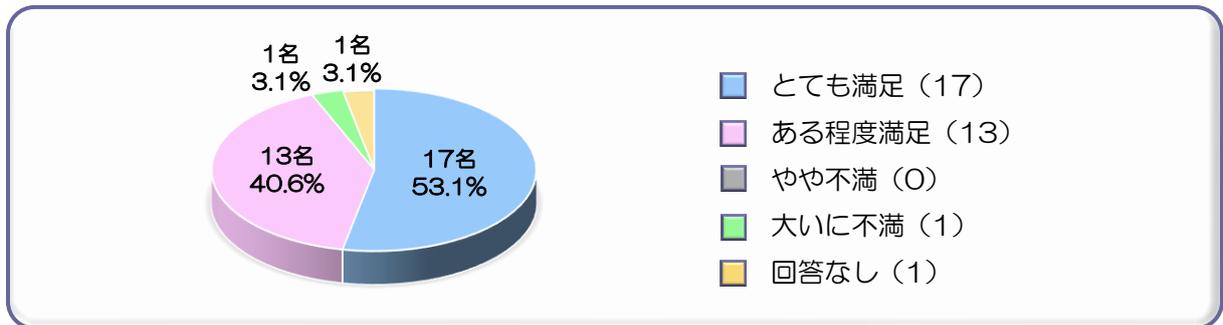
（内訳）理系（機械知能工学） 学部4年：9名、修士1年：16名、修士2年：7名

< 希望進路 >

		学部4年	修士1年	修士2年	修 士 (学年不明)
就 職	進 学	6	1	0	0
	メ-カー	0	0	0	0
	そ の 他	2	14	4	4
	未 定	1	0	0	0
計		32			

➤ 講演、対話について

(1) 講演の内容は満足いくものでしたか？その理由は？



[とても満足]

- ・講演を通して対話の事前知識を得ることができ、事前質問につなげることができたから。
- ・原子力やカーボンニュートラルなどエネルギー問題の深いレベルでの話を聞くことができたから。
- ・原子力の基礎から実用例まで幅広く学びました。
- ・改めて再生可能エネルギーを推進することの限界と、原子力発電の必要性を議論することができ、原子力に関して正しい知識を得ることができたため。
- ・原子力を中心としたあらゆるエネルギー問題の知見を深めることができた。
- ・知りたいことを知ることができた。
- ・自分の知識不足もあるが、新たな知識を多数得られたから。
- ・シニアの方の経験を聞くことができたから。
- ・基本的原理からカーボンニュートラルまで体系的に詳しくまとめられていたから。
- ・将来、原子力事業に関わっていくうえで、必要な知識が得られた。

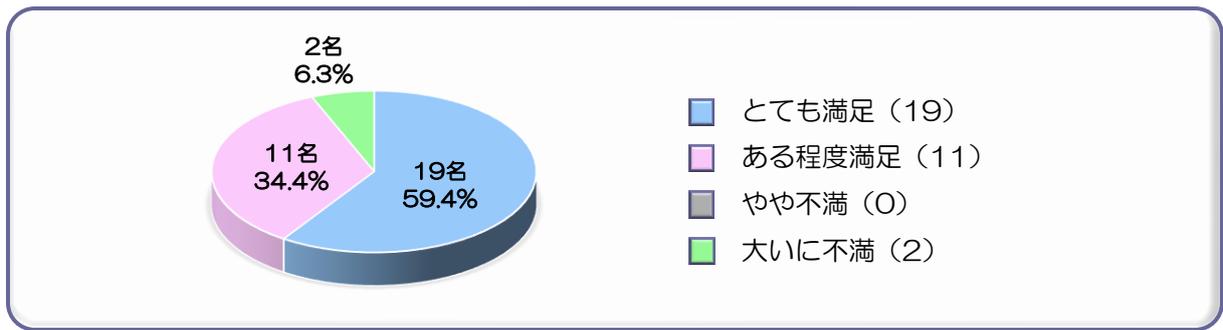
[ある程度満足]

- ・話の内容がとてもためになった。
- ・事前に自分たちのグループで議論したのみでは知ることができなかったことまで聞くことができ、貴重な話を聞くことができた。
- ・原子力の発展に貢献してきた方々の貴重な話を聞くことができ良かった。
- ・質問に丁寧に答えていただいた。
- ・普段聞けないことを聞き良い体験になったから。
- ・日頃、話を聞くことがない内容であったため。

[大いに不満]

- ・シニアの方が常に話し続けていた。長時間話した後に質問されても分からない。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



[とても満足]

- ・事前質問への補足説明や、さらに疑問に思った事柄に対して、丁寧に回答いただき、原子力関係についての理解が深まったから。
- ・原子力にはもともと興味があったが、原子力に携わっていた人の経験談を聞くことができたから。
- ・シニアの方々と活発に議論し、様々な知見を知ることができた。
- ・大学の授業では得ることのない、より専門的な対話をすることができたため。
- ・話したいことを話すことができた。
- ・インターネットで調べるだけではわからないことを知ったり、考えることができた。
- ・シニアの方々の意見を多数聞くことができ、有識者の考え方を知ることができた。
- ・これからの技術者人生において、参考になった。
- ・学生が考え意見を持つことができるような進行をしていただいたから。
- ・第一線で活躍された方々とざっくばらんに話げできたから。

[ある程度満足]

- ・事前の質問に回答してくださった方とグループにあてられた方が別だったようで、回答への質問に答えてもらえなかったため。
- ・質問の回答はすごく力を入れてくださって分かりやすかった。人数が多すぎて時間が足りなかったのと、まとめが上手くいかなかった。
- ・予定されていた時間を超えるほどの多くのことを聞くことができ、貴重な話を聞くことができた。
- ・事前に考えてきたことなどについて、補足や解説をしていただき良かった。
- ・質問に丁寧に答えていただいた。
- ・楽しかった。
- ・有意義であった一方で少し難しかった。

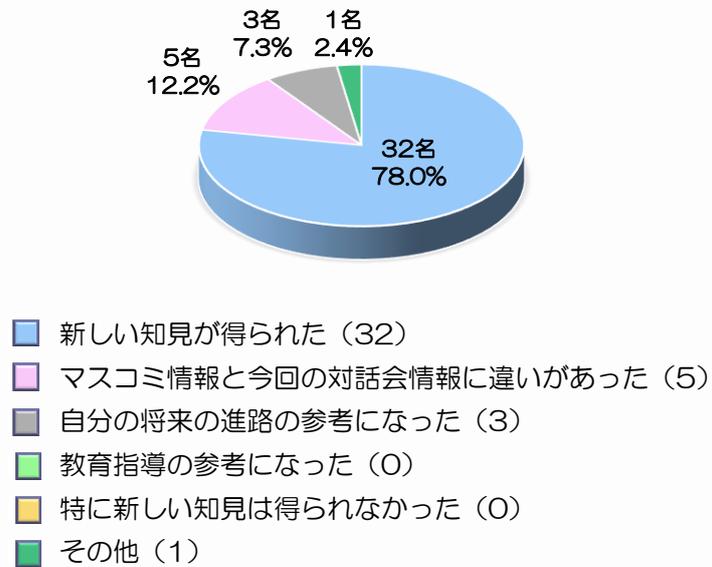
[大いに不満]

- ・シニアの脱線が多く、対話がしにくかった。

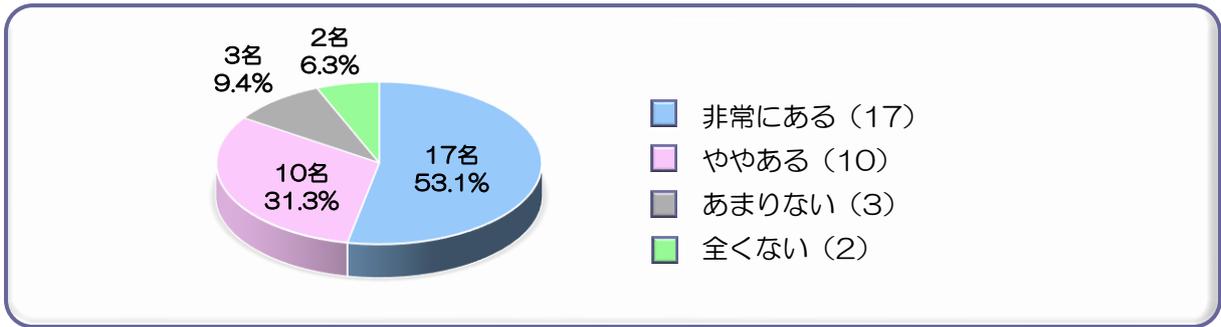
(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？(複数回答も可)



(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



[非常にある]

- ・シニアが経験したことを知ることは、学生が社会人として生きていくうえでとても貴重なものになると感じるから。
- ・これからの日本を支える若者こそが、知見を持つ必要があると考えます。
- ・長年、専門分野で活躍されたシニアの方と対話することで、将来の進路に新たな選択肢が生まれるため。
- ・普段接点がない内容に触れられたから。
- ・考え方や知識に世代差があるので、それを埋めるために必要だと感じた。
- ・テーマの内容をより深く知ることができるから。
- ・シニアの方のこれまでの経験や知識を学生と共有するための良い機会。
- ・学生が知識やリアルを知ることができ、問題意識を持つことができる。
- ・原子力に関わらず、シニアの方々とは話すことに意味がある。

[ややある]

- ・学生の身では普段聞けない話ばかりであり、エネルギー問題について興味を持つきっかけとなった。
- ・エネルギー問題に関する知見を深めるうえで、とても貴重な経験ができるので必要と思う。
- ・新しい知見が増えるが、緊張する。
- ・対話自体は、重要なものであると感じたが、私たちのグループではテーマとは少し関係ないような雑談のようなものが多かった印象があった。
- ・過去、原子力の立ち上げに携わった方々の話を伺える重要な機会だった。

[あまりない]

- ・研究で忙しく、研究に注力したかった。

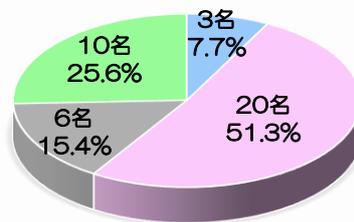
[全くない]

- ・価値観の押しつけがある。

(6) 今後、機会があれば友人や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？



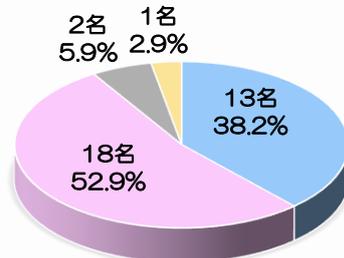
➤ 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)



- 放射線、放射能はやはり怖い (3)
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた (20)
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた (6)
- 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた (10)

➤ 原子力発電に対して伺います。

第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の対話も踏まえたあなたの認識は次のどれですか？その理由は？



- 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない（13）
- 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった（18）
- 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ（2）
- 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい（0）
- どうすればいいかよく分からない（1）

[原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない]

- ・再生エネルギーだけでは、カーボンニュートラルの目標達成は難しいことや、原子力発電の安全性を対話を通して理解することができた。
- ・多角的に原発の長短を見極める必要があると感じた。
- ・原子力で賄えるエネルギーは他の発電方法とは格段に違うことを、今回の対話会や先日の基調講演で学んだので、原子力発電に関しては安全性を徹底したうえで運転すべきだと思う。
- ・他国も原子力の使用に前向きであるため、原子力の技術は他国に対しても武器となる。
- ・発電効率が最も良いため。
- ・カーボンニュートラル実現のためには、自然エネルギーだけでは無理があるから。
- ・電気が必要な社会であるから。
- ・科学的根拠に基づく理解のもとでは、原子力を利用しないことは考えられないから。
- ・再生可能エネルギーだけでは、カーボンニュートラルは難しいと考える。
- ・エネルギー資源の確保の観点から重要。

[原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった]

- ・現在の日本のエネルギー情勢と地球温暖化を考えると、原子力発電が最適解だと考えていたから。
- ・再生可能エネルギーのみでは、電力供給を維持できないことと、原子力の必要性は対話以前より知っていたので、原子力の必要性に関する認識は変化しなかった。
- ・危険であることに変わりないが、現在は必要であると思う。今後、再生可能エネルギーがベース電源として使えるようになれば、原発は不要であるがまだまだ先の話であるとする。
- ・まだ、他のエネルギーの技術が十分でない。
- ・再生可能エネルギーだけでは足りないから。
- ・もともと発電量に対する効率やコスト等の面からある程度、原子力発電は必要であると考えている。
- ・再生可能エネルギーだけでは、やはり電力を賄いきれない部分があると思っている。
- ・発電コストや安定性が、他の発電に比べて高いため。
- ・安全性をより高めた開発を行うことで、安全に使用できると感じたため。

- 現在、日本は火力発電に依存しており、2050年までの目標である脱炭素社会の実現には、原子力発電は必要だと考えたため。
- 資源の少ない日本にとって原子力発電は重要であるが、使用済燃料の処分に関しては、まだ十分に議論する必要があると思う。

[原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ]

- このまま原子力に頼っていると、大量の放射性廃棄物の処理を未来に任せることになり様々な問題が出てくると思うから。

[どうすればいいのかよくわからない]

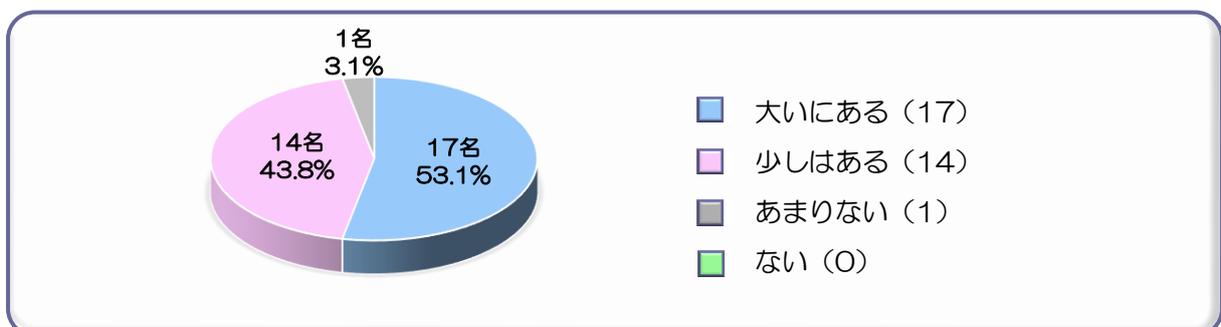
- カーボンニュートラル目標の達成のため、原子力発電が必要なことは分かったが、原子力の危険性について正しく理解できた自信がないため、結論を出せない。

➤ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

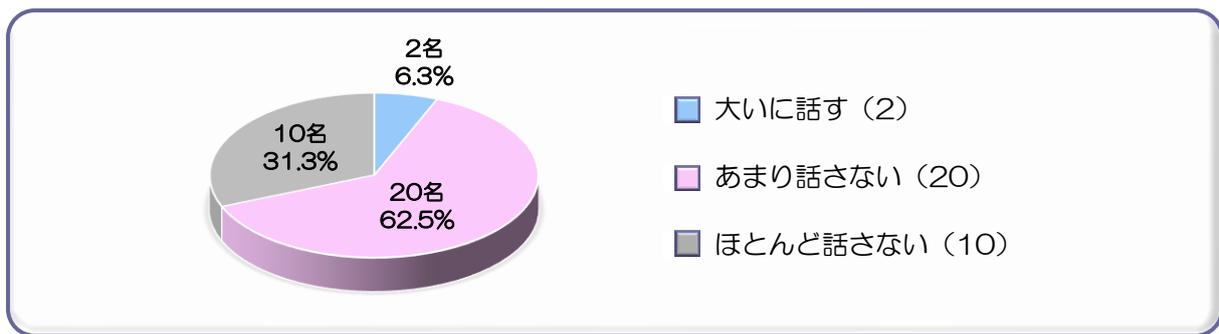
- ・原子力発電への正しい理解が深まり、新たな知見も多く得ることができたと思う。また、これからのエネルギー問題は、私たちが主体となって考えていかなければいけない問題であり、エネルギー問題にさらに興味を持つことができた。
 - ・非常に興味深い対話だった。講演を受ける前から原子力には少なくない興味を抱いていたが、将来性等を考えると、やはり人類には原子力が必要であると改めて認識した。
 - ・シニアの方々から貴重なご意見を聞くことができました。開催していただき、ありがとうございました。
 - ・非常に有意義な対話会であった。
 - ・シニアの方々と話し、発表するという初めての機会だったが、学べることがとても多く、貴重な経験となった。
 - ・自然エネルギーの維持、管理のコストが想像以上に高くつくことに驚いた。また、テロ対策などの原発の安全対策についても知見を得ることができた。
 - ・再生可能エネルギーだけではなく、原子力の話についても聞くことができてよかった。
 - ・もう少し時間をかけて準備をすればよかったと思うこともありましたが、非常に良い時間だったなと感じました。
 - ・貴重な話を聞いて良かった。
 - ・シニアの方ととてもフランクに対話することができた。
 - ・学生の積極性が求められ養われるこの企画を、今後も続けてほしい。
- ・原子力ばかりに頼っていると、大量の放射性廃棄物の処理を未来に任せることになり、様々な問題が出てくると思う。
 - ・シニアの方が話すばかりで、対話はなかった。
 - ・発表のスライド作成の時間が短い。

➤ カーボンニュートラル（脱炭素）について

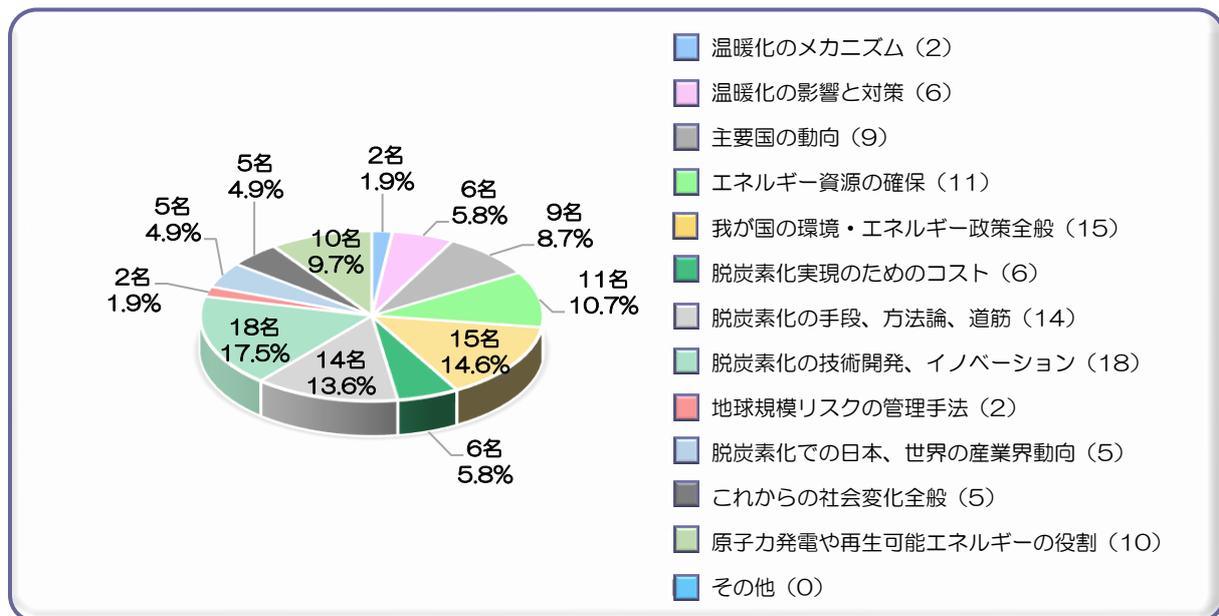
(1) 地球温暖化や脱炭素社会の実現について関心や興味がありますか？



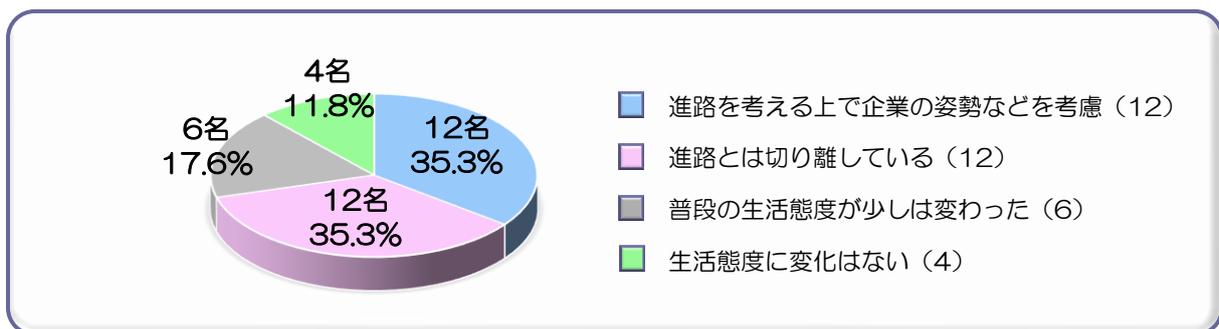
(2) 友人同士で温暖化や脱炭素社会を話題にしますか？



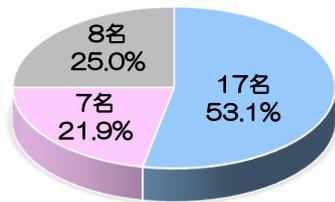
(3) 興味や関心があるのはどの項目でしょうか？（複数回答可）



(4) 地球温暖化や脱炭素化社会実現の動向はあなた自身の生活や進路選択に影響をもたらしていますか？（複数回答可）

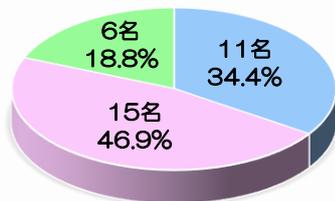


(5) 日本の2050年脱炭素化社会の実現可能性について見解をお尋ねします。



- 実現するとは思えない (17)
- 相当いいところまで到達する (7)
- わからない (8)

(6) 地球温暖化対策のための脱炭素達成には、これからのエネルギー（化石燃料、再エネ、原子力）の選択が大変重要です。あなたはこのことを知っていますか。



- 十分知っている (11)
- 多少知っている (15)
- 知らない (0)
- 勉強してもっと知りたい (6)